

経営比較分析表（令和3年度決算）

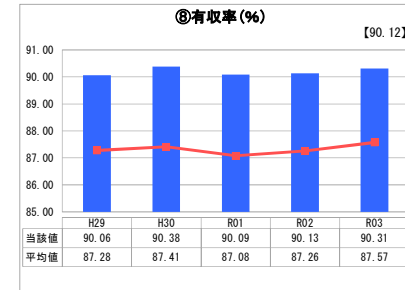
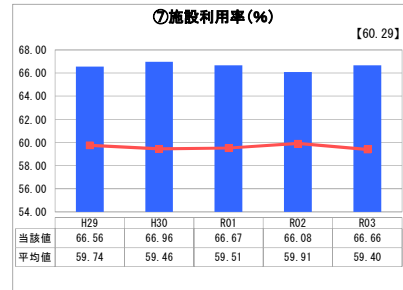
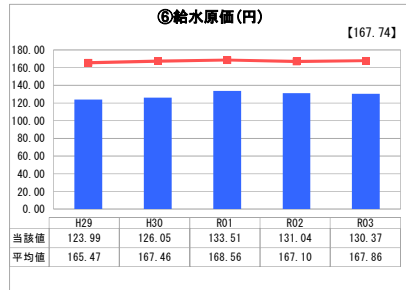
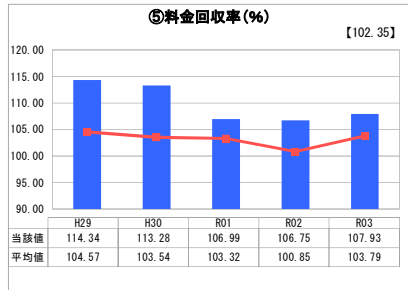
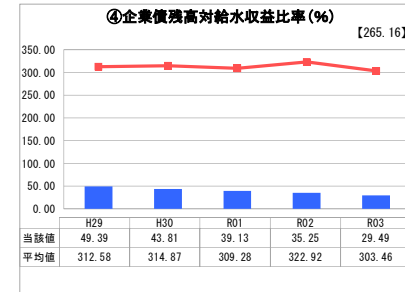
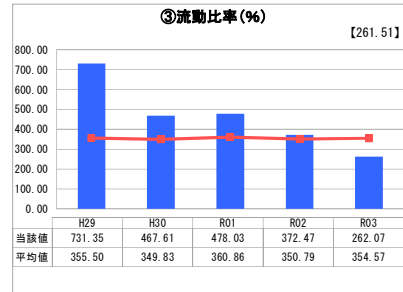
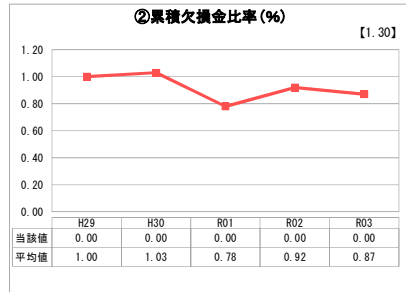
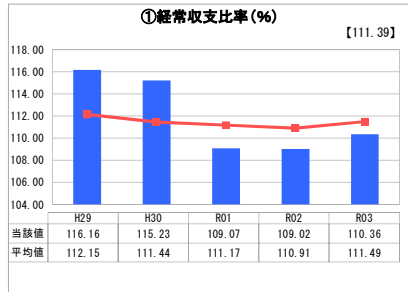
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	92.57	99.95	1,925	

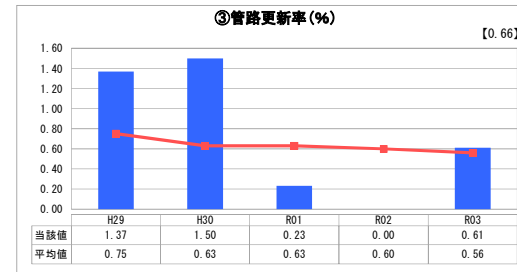
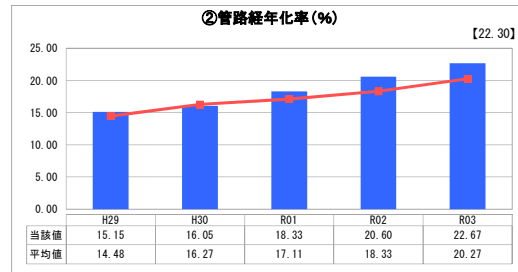
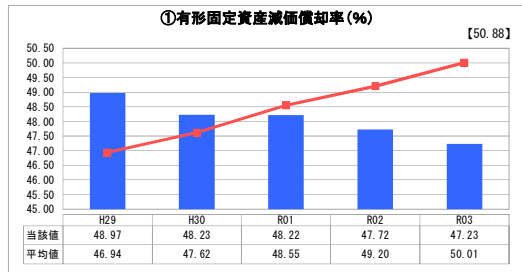
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
90,385	65.35	1,383.09
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
90,343	65.69	1,375.29

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%を上回っており、新型コロナウイルスの影響が小さくなり給水収益が増加した結果、前年度と比較し増加した。ただし類似団体平均を下回っているため、今後も収支の動向を注視しつつ、100%を維持出来るよう努める。

②累積欠損金比率
該当なし

③流動比率
100%を上回っているが、流動資産のうち現金については引き続き減少している。

④企業債残高対給水収益比率
類似団体の平均値を下回っており、企業債に頼らず事業を行っている。

⑤料金回収率
給水に係る費用が給水収益で賄えており、類似団体の平均値を上回っている。

⑥給水原価
類似団体の平均値を下回っており、安い原価で給水を行っていることを示している。

⑦施設利用率
類似団体の平均値を上回っている。将来的には人口減少による一日平均配水量が減少することが見込まれるため、適切な施設規模に注視していく。

⑧有収率
類似団体及び全国平均値を上回っている。継続して実施している老朽管更新に因ると考える。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
管路・施設の更新により類似団体の平均値を下回っている。

②管路経年化率
類似団体の平均値を上回っており、加えて平成29年度以降増加傾向であるため、経営状態を勘案しつつ引き続き管路更新に努める。

③管路更新率
類似団体を上回っているが、今後も更新計画に基づき幹管路を含む老朽管更新を実施する。

全体総括

経営の健全性・効率性の分析から、水道事業は適正な運営を維持していると判断できる。当該年度は、令和元年東日本台風の復旧に係る費用や新型コロナウイルス感染症による給水収益への影響が令和元年度や令和2年度と比較し小さくなり、受水費の減や給水収益の増により、経常収支比率や料金回収率が増加した。

ただし流動比率は平成30年度以降大きく減少し、資金の減少がみられるため、委託料、修繕費及び動力費等の維持管理費や減価償却費等の推移を注視しつつ、水道ビジョンで提示している水道料金の将来的な改定を検討していく。

老朽化の状況から分かるように水道施設や管路が老朽化しているため、今後も更新計画に基づき幹管路を含む老朽管更新を予定している。

経営比較分析表（令和3年度決算）

埼玉県東松山市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救感輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
90,385	13,805	第2種該当	-	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

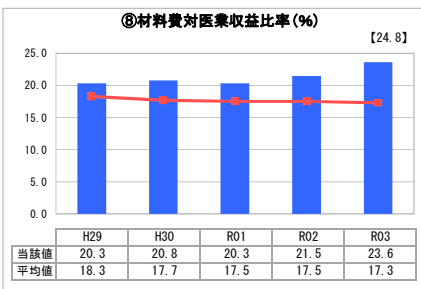
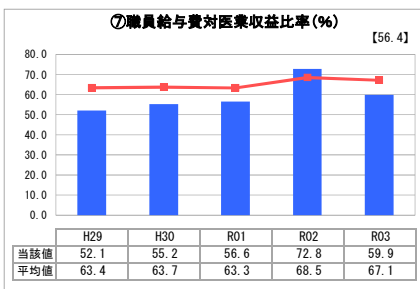
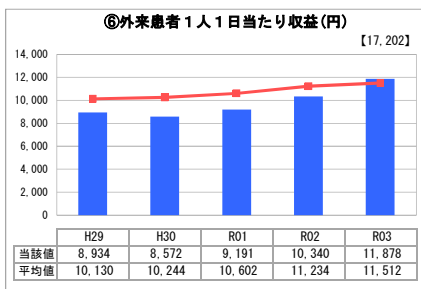
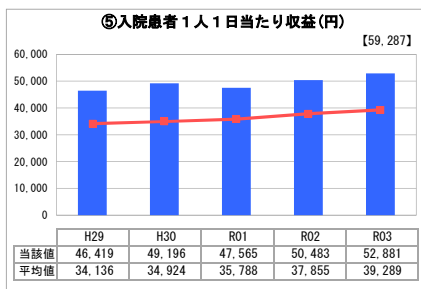
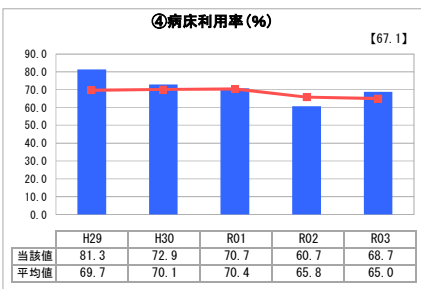
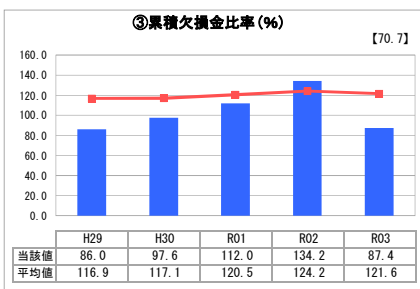
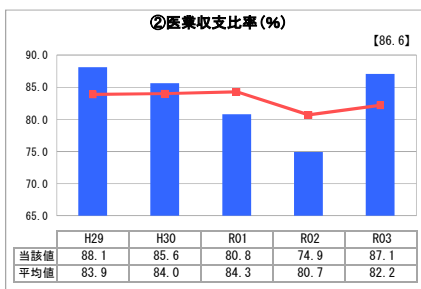
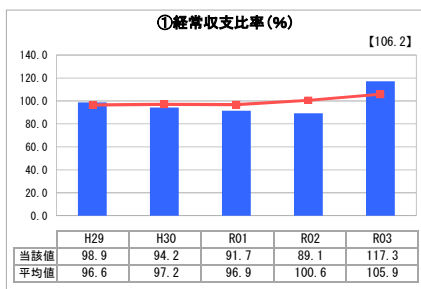
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
110	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	114
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
111	-	111

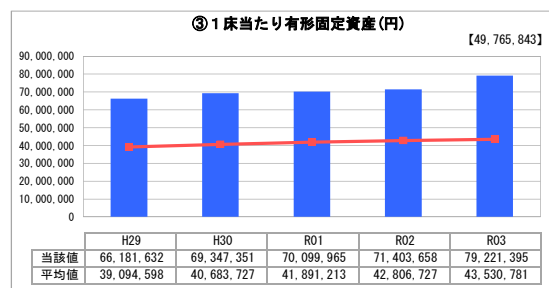
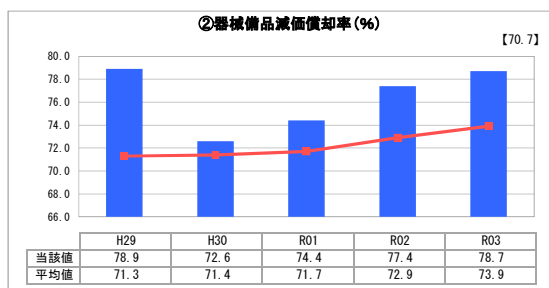
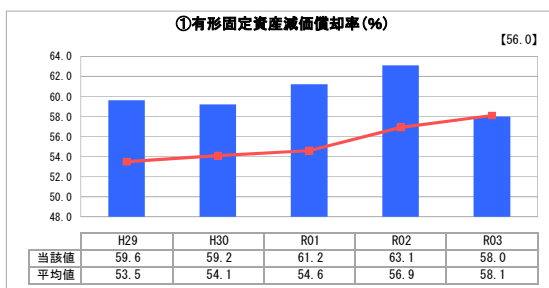
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

比企地域のほぼ中央に位置しており、川越比企保健医療圏内唯一の公立病院です。二次救急医療や感染症医療などの政策的医療のほか、12の診療科を有する身近な総合病院として地域住民に安定した医療を提供しています。地域における医療ニーズに応えられるよう、近隣医療機関や施設等との連携と機能分化を推進しながら、持続可能な地域医療提供体制の確保に貢献します。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

常勤医師の増員により医業収益が増加し、経営指標は全体的に改善傾向となりました。入院・外来ともに患者1人1日当たりの収益も増加しており、健全で効率的な経営を実現させるため、引き続き収入を増やす取り組みを行います。なお、職員給与費対医業収益比率が減少したことについては、特に医師については、会計年度任用職員の報酬が減少したことによるものです。また、主に神経系の薬品で、専門性が高く比較的薬価の高い薬品の使用が増加したことにより、材料費対医業収益率が増加しました。

2. 老朽化の状況について

建物及び設備関係の大規模修繕が終了したことにより、有形固定資産の帳簿価額が増大し、有形固定資産減価償却率が減少しました。器械備品については、経営的な側面からも安全性が確保できるものは、法定耐用年数を超えるものでも可能な限り修繕等に対応し、特に老朽化が進むMRIや手術用機器等は更新・新規導入が今後必要になることから、財源の確保を含め長期的な視点に立って計画的に実施していきます。なお、建物関係については、許可病床数よりも広いスペースを確保しており、現許可病床数の1床当たりの有形固定資産は、割高になる傾向があります。

全体総括

常勤医師の増員などから医業収益が増加したこと及び新型コロナウイルス感染症関連の補助金の影響により、経常収支比率が大幅に改善しました。引き続き医業収益を増やす取り組みを行いながら当院の施設・設備の最適化を図り、効果的な設備投資を計画的に行うことで、健全な経営を目指します。また、地域における医療ニーズを的確に把握し、関係機関との連携しながら地域医療に貢献していきます。

令和4年度中に経営強化プランを策定し、計画に沿った具体的な方向性と専門性や特色を持った体制を整備することで、医業収益の増加を目指します。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和3年度決算）

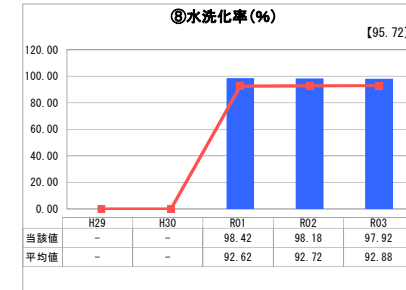
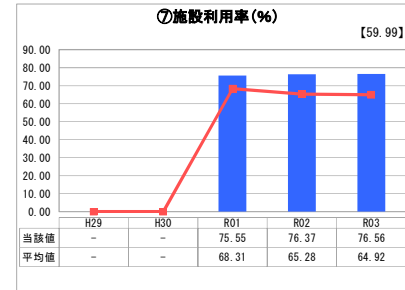
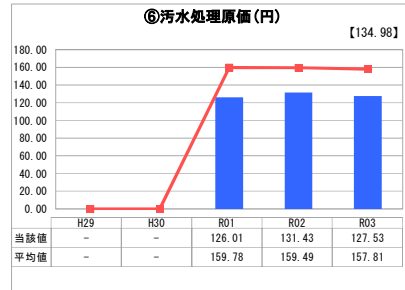
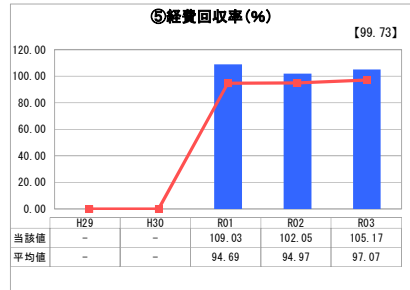
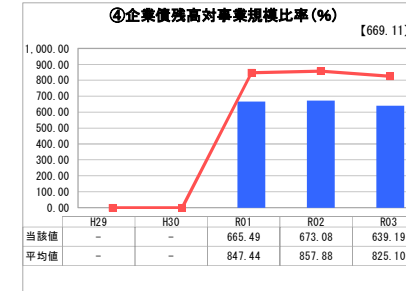
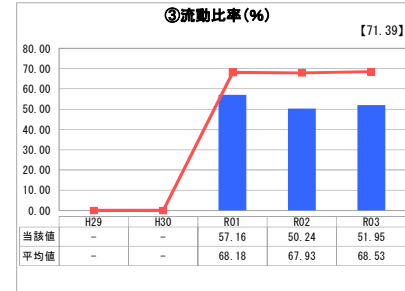
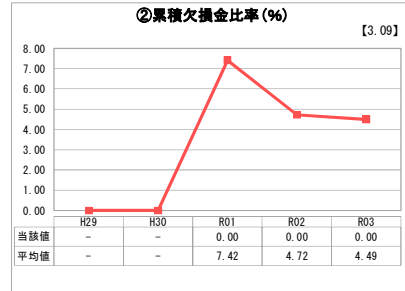
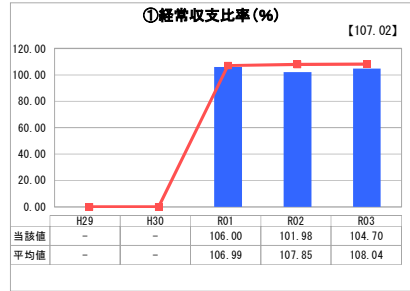
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	79.98	52.19	78.23	2,035

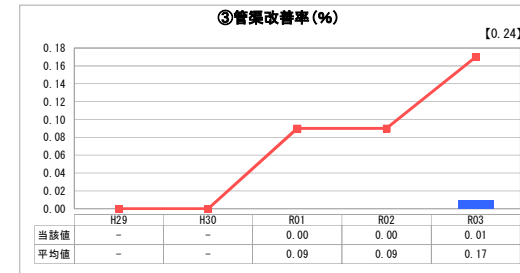
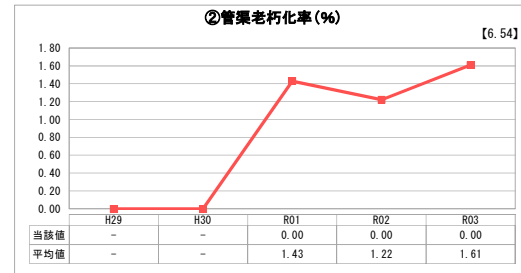
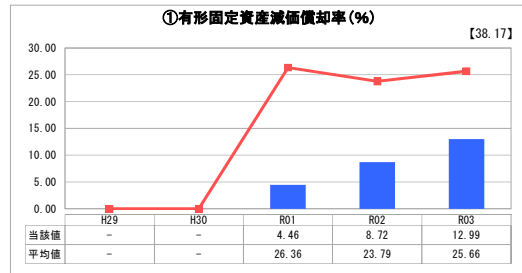
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
90,385	65.35	1,383.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
47,171	10.40	4,535.67

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
100%を上回っているが、今後の更新投資等に充てるため引き続き財源確保に努める。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金は発生していないが、引き続き財源確保に努める。
- ③ 流動比率
100%を下回っており、令和2年度策定の経営戦略をもとに、収益性の確保に努める。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
下水道事業開始当初の借入について償還が終了しつつある状況であり、類似団体の平均値を下回っている。
- ⑤ 経費回収率
100%を上回っており、汚水処理費用が下水道使用料で賄えている。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体の平均値を下回っているが、今後、汚水処理費の増加が見込まれるため、それに対する財源確保に努める。
- ⑦ 施設利用率
類似団体の平均値を上回っている。今後、未整備区域の解消を進めることで更なる利用率の増加が見込まれる。
- ⑧ 水洗化率
類似団体の平均値を上回っている。今後、下水道整備を進めるにあたり、速やかな接続を促進し100%を目指していく。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っているが、ストックマネジメント計画をもとに資産管理をしていく。
- ② 管渠老朽化率
該数値はないが、ストックマネジメント計画をもとに資産管理をしていく。
- ③ 管渠改善率
類似団体の平均値を下回っているが、後は耐用年数を超える資産が発生することによる更新事業費の増加が見込まれる。ストックマネジメント計画をもとに資産管理をしていく。

全体総括

経常収支比率及び経費回収率ともに100%を超えており、下水道使用料等に賄えていることが分かる。また、管渠老朽化率が0%であることより、健全かつ適正な事業運営がなされていると判断できる。
 後は耐用年数を超える資産が発生することによる更新事業費等の増加及び人口減少等に伴う使用料収入の減少が予想される。令和2年度策定の経営戦略をもとに、収益性を確保し、将来にわたり持続可能で安定した事業運営を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。